

River Diary

H30

3/7

四季彩マラソンロードに 今年も蜂須賀桜を植樹

とくしまマラソンのコースである吉野川沿いを桜並木や四季折々の花で彩ろうという「四季彩マラソンロード」プロジェクト。今回は、阿波市吉野町西条の蛇池川排水機場に蜂須賀桜の苗木4本を植樹しました。葉月会の皆さんの手で育てていただきます。多くの方の手で大切に守り育てられ、マラソンロードが毎年少しずつ広がっていくのがうれしいですね。



7/27・28 吉野川フェスティバルでPR



ブルーを基調にした紹介パネル

吉野川最大のイベント、「吉野川フェスティバル2018」に今回もブースを出展しました。今年度は、吉野川交流推進会議の活動紹介パネルを一新。合わせて、吉野川が育んだ阿波藍についての紹介パネルも制作し、吉野川フェスティバルで初披露！子どもたちにはコマとヨーヨーの色つけ体験を楽しんでもらいました。また、兄弟河川の筑後川からメンバーが駆けつけ、物産販売もご協力いただきました。



大学生のボランティアが大活躍



久留米ラーメン、うまか〜！

8/5 2年ぶりに吉野川上流探検へGo!

7月31日に予定していた「交流体験 in よしのがわ中流編」(カヌー体験)、同じく8月1日の下流編(川魚観察)が台風の影響で中止になりましたが、上流編は開催することができました。昨年の上流探検隊は台風で中止となったので、2年ぶりの開催です。

まずは、四国の水がめ・早明浦ダムの内部を探検し、ダムの役割や水の大切さを学びました。午後は小谷寛二先生(広島文化学園大学特任教授)による水難事故防止講習。汗見川で、スローロープを使って人を救助する方法やライフジャケットの使い方を実習しました。小学生親子16名が有意義な夏休みの一日を過ごしました。夏休みの自由研究もこれでバッチリですね。



↑川で安全に遊ぶためにしっかり実習
←洞窟のような早明浦ダムにドキドキ



組も
縁も
兄弟
ダも
出席

平成30年5月28日、ホテル千秋閣で開催した吉野川交流推進会議総会において、事業計画等を協議いただきました。また、アドプト・プログラム吉野川参加団体・企業のうち、活動の顕著な団体・企業等に感謝状を贈呈しました。今年度の事業計画は下記のとおりです。

◆◆◆ 平成30年度総会を開催しました ◆◆◆

交流事業

- ◆ アドプト・プログラム吉野川の推進
- ◆ 子どもの交流体験事業の実施
- ◆ 地域イベントとの交流事業の実施
- ◆ 三山河川交流事業の実施(流域間交流事業)
- ◆ 国土交通省との共催事業の実施
- ◆ 「恵みの宝庫『吉野川』創造プロジェクト」との連携事業の実施

情報発信事業

- ◆ 機関誌「四国三郎吉野川」の発行
- ◆ インターネットによる全国への情報発信
- ◆ 各種イベントでの活動のPR、パネル展など

会員の募集

- ◆ イベント等で入会案内を配布し、新規正会員、賛助会員を募集

「とくしま流域水管理計画」推進シンポジウム開催



平成30年12月に「とくしま流域水管理計画」が策定されました。この計画を広く知っていただくとともに、水管理の大切さを理解してもらおうと、平成31年1月29日、あわぎんホール(大会議室)において、「とくしま流域水管理計画」推進シンポジウム「吉野川で培われた歴史を次世代へ継承」が開催されました。落語家・桂七福さんによる基調講演は、ふるさと落語「阿波吉野川」。続いて、田村典子さん(四国大学教授)、千葉昭彦さん(美馬市水辺の楽校運営協議会会長)、中村英雄さん(認定NPO法人 新町川を守る会理事長)、そして桂七福さんによるパネルディスカッションが行われ、吉野川の文化や歴史について議論が交わされました。